

授精課通信



～1日2回は本当に必要なの？～

私が事務員から授精師へと変貌をとげた頃は、当社に授精部門があることをご存知ない方がほとんどで、獣医師の繁殖検診に随行してご挨拶をした時に驚かれるケースが多々ありました。

あれから約4年経ち、今では授精師が5人(男2女3)に増え、少しは活気が出て皆さんに知っても



らえる機会も増えたのか、最近当社の授精部門へ興味を持っていただいた方々からたまに業務内容を聞かれることがあります。

そこで一番驚かれるのが、『農場への訪問回数』です。そこについて、少しご紹介できればと思います。

当社の人工受付体制は、

『基本は1日1回決まった時間帯に訪問！』

なので、随時受付をしているわけではありません。

それぞれの農場で訪問時間が決まっている為、その時間帯までに連絡をもらうようにしています。

この話をした後に大半の人が口にする言葉は、

「1日1回、それも決まった時間のみで繁殖成績は大丈夫なの？」です。

初めて当社を利用したお客さんにも全く同じ質問をされ、とても心配をされます。

結果から言いますと、1日1回授精にしたことが原因で繁殖成績を落としてしまった農家さんはいません。

○移行前と移行後の受胎率の比較

農場	移行前	移行後
A農場	39%	40%
B農場	39%	46%
C農場	38%	38%
D農場	32%	49%

それぞれ1年分の受胎率で比べてみました。変化のない農場もありますが、低下している農場は見受けられません。このことから、1日1回授精が原因で受胎率が下がることはないということがわかります。

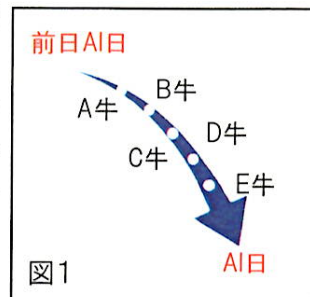
◎1日1回授精のポイント

前半の内容だけ見ると、「1日1回授精にしても全く問題ないし、むしろ受胎率UPしているところもある！」と思われるかもしれませんが、いくつかのポイントがあります。

Point1: 排卵確認をする！

当社では翌日必ず排卵確認をしています。

1日に1回しか授精のチャンスがない！ということは、発情を発見してから授精を行うまでのタイミングにバラツキが出るからです。(図1)



A牛→前日AI日後すぐに発情を発見

・AIまで時間がある為排卵している可能性あり

E牛→発情発見からまもなくAI

・発見からAIまでの時間差があまりなく排卵まで時間がかかるかも

この2頭でいうと、発情発見からAIまでの時間差が相当違います。従来の授精タイミングで考えるとA牛は遅いかも、E牛は早いかもしれません。そこで翌日排卵確認をすることで、排卵していない牛にたいしてもう一度AIをし、タイミングの部分カバーしています。

Point2: 排卵確認はエコーです！

当社はエコーを用いて発情確認をしています。それにより、発情時の正確な卵巢所見がわかり(卵胞の数等)、正確な排卵確認ができているというのもポイントの1つかもしれません。

Point3: 排卵してしまった牛へのET！

先程のA牛のように発情発見から時間が経ってしまっていて排卵してしまっている場合への対応が鍵になってきます。

・1つ目はOVALとよくいわれているものです。排卵からのすぐ時間が経っていなければ、授精して受胎する可能性は0ではありません。授精を見送るよりは、やる価値はあるかと思えます。

・2つ目は、受精卵移植です。最低限必要な後継牛を確保できている方は和牛受精卵を使用したり、ホルが欲しい方は能力の高いホルの受精卵を使用したりして可能性を広げています。

◎最大の1番のポイントは. . .

いくつかのポイントを上げさせて頂きましたが、何より1番大切なのは農家さんが発情をしっかりと考えているという点だと思います。いつどういう発情だったのか見られているからこそ、排卵後の対応ができ、早すぎる発情を翌日にすることもできます。以前、発情兆候についてM情報に書かせて頂きましたが、私たち授精師は農家さんが見つけた発情の情報「兆候の種類や時期等」がすごく重要なのではないかと思います。ここからは私の話になりますが、私が使用しているエコーだけでは発情確認時に排卵時期まで予測することはできません。なので、その農家に行き続けて得た傾向と農家さんが教えてくれた発情の情報が判断にとっても重要になっています。

1日1回授精で私が農家さんで試してみた事例は次回書きたいと思います。

農家さんが、授精師を呼ぶ時間にしぼられることなく、繁殖が上手く回るきっかけに少しでもなれればと思います。

新年のご挨拶が大変遅くなってしまい申し訳ありません。毎日があっという間に駆け抜けていき、気づけば昨年30歳. . .順調に熟していております。18歳の頃には35歳と言われ、授精師になってからは平成に生まれには見えないと言われ続けて来ましたが、そろそろ年相応になればと思って毎日過ごしています。

今年は趣味を何か1つ見つけて、良い気分転換をしながら仕事に没頭できたらと思いますので、色んなご提案お待ちしております。

仕事面に関しましては、農家さんにより一層情報やより良い技術を提供できるように精進していきたいと思います。また今年も1年よろしくお願い致します。



Nakanishi

授精課通信

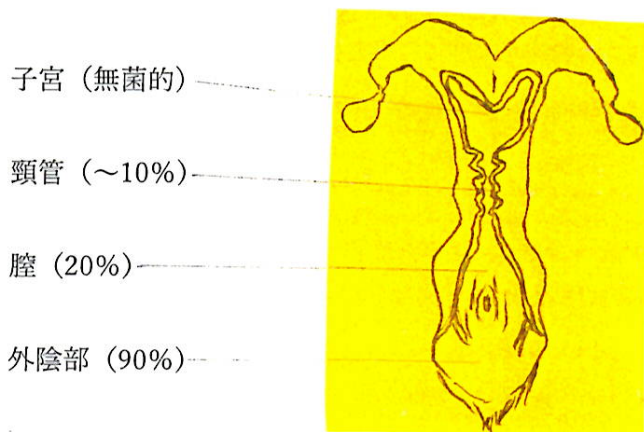
こんにちは、授精課の大原です！最近寒すぎてアル綿を触る手が冷たくて指が死んでしまいそうです。私たちはアル綿を授精の際、陰部をきれいにするために使うのですが、牛もひんやりして気持ち悪いのでしょうか、嫌そうにしています。

授精の注入の際、衛生的にできていますか？



こちらは注入前の陰部です。糞尿で汚れているのがわかります。そのまま注入してしまうと子宮の中に細菌が侵入する可能性があり、受胎に影響します。

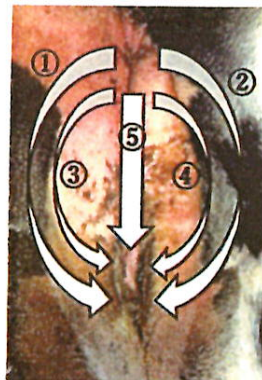
外陰部から子宮までの細菌の汚染度は、外陰部は約90%、膣は約20%、頸管は10%以下、子宮は0%（無菌的）となっています。このことから、子宮内に細菌を侵入させないように衛生的に授精を行わなければなりません。



●アル綿をうまく使う

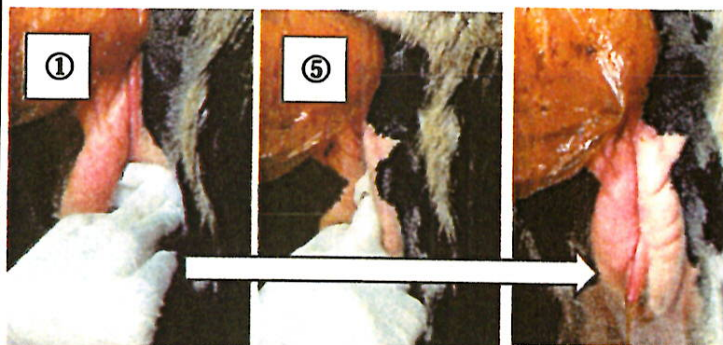
アルコールを浸した綿を常にたくさんタッパーに入れておきましょう。最初にも言ったように、アル綿は牛がびっくりしたり、嫌がったりするのである程度余分なアルコールは手で絞ってから使用します。ただし絞りすぎるとアル綿が乾いて汚れが取りにくくなるので絞りすぎには注意です。

汚れの取り方としては右上の写真のように陰部の外側を上から下へ先にふき取り、そのあとに内側を上から下へふき取っていきます。外側の汚れを取ることによって陰部の内側に汚れが入りづらくなります。特



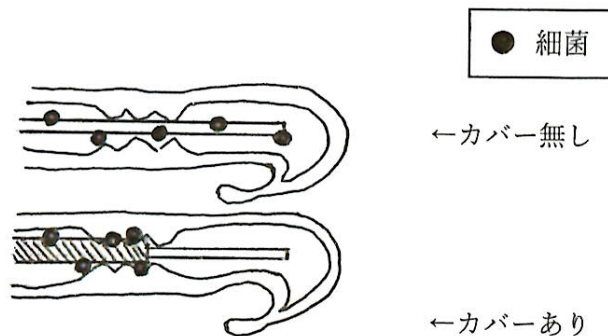
に⑤は中までぬぐうようにしっかりと拭きます。最低でもアル綿は5枚使うようにしていますが、できるだけ多めのアル綿でしっかりと拭きます。

このようにきれいに拭きとることで消毒の役割も存分に発揮できます。



●シース菅カバーでより細菌侵入を防ぐ

シース菅カバーを使うことでより衛生的に注入を行うことができます。このようにシース菅カバーを注入時の途中でむくことで子宮に細菌が入りづらく、また注入中に糞が出てきても注入器自体は汚れずに済みます。



牛もきれいにしてくれる方がうれしいですね。注入をきれいに行うポイントは

アル綿で陰部をピカピカに！

シース菅カバーをうまく使い、細菌侵入防止！

汚れやすい陰部ですが授精の前には必ずきれいにし、衛生的に精液を子宮内に届けてあげたいです。

大原 珠丘